

西馬城地域づくり協議会だより

～ 元気 やるき みんなで育てよう 豊かな西馬城 ～

第4号 平成27年7月

発行：西馬城地域づくり協議会

事務局 TEL・FAX 25-6828

M.A. 25ne3i@bma.biglobe.ne.jp

AEDの効果を認識

7月13日、西馬城小学校において、救急救命法（AEDを用いた心肺蘇生法）の講習会が実施されました。教職員、PTAの方々、地域の方々合わせて30名近い参加がありました。

心停止には**AED**（電気ショックにより心臓の動きを整える器械）の使用がきわめて有効であることを認識しました。



AED設置の現状

現在、西馬城地区で**AED**が設置されているのは、**西馬城小学校**と**明和保育園**のみです。将来的には各公民館に設置されることが望まれます。

マムシに咬まれたら

消防の方によると、今年はマムシに咬まれたということでの出動が多いそうです。もし咬まれたら、毒が回らないよう**なるべく体を動かさず**、病院に行くか救急車を要請してほしいとのことでした。**傷口より心臓に近い部分を締める**ことも有効だそうです。

岩屋観音の現状

岩屋観音（岩屋岸頭寺）は、両子寺や富貴寺など多くの寺院を開基したにんもんぼさつ仁聞菩薩がこの洞窟（岩屋）で3年間もの間修行したと伝えられ、この岩屋に一度でもお参りすると、立派な人間に生まれ変わり、死んでからも清らかな仏の国へ行くことができるとされています。江戸時代に川筋三十三所観世音第六番札所となりました。西馬城の貴重な文化財の一つと言えるでしょう。

かつては西馬城内外から参拝が盛んだったという岩屋観音。今では、**いわれを示す看板の文字もかすれ、お堂に登るための鎖も傷んでおり、上からの落石もあります。**

毎月17日に宮原地区の方々がお堂の掃除とお参りをされており、8月には長興寺さんを招いて、お経をあげてもらっているとのこと。



文字の消えかかった看板



岩屋観音遠景

西馬城の地名あれこれ(矢部と城山)

『宇佐史談』によると、昔、この地から神宮にやがら矢柄（矢の棒の部分）の竹を納めており、その竹をさらに、神宮から朝廷に献上していたことから「**矢部**」の地名が付いたとあります。

あるいは、昔、**矢部氏**が、宇佐若宮の祇宮であり、矢部の荘の地頭で、丸山城（下矢部の長興寺裏手）に居たことからその名が出来たとのことです。

龍ヶ鼻城（上矢部の**城山**）は、応永年間（14～15世紀）に**矢部近江守高朝**（はじめ大内氏のちに大友氏に臣従）が築いたとされています。黒田氏により城邑は没せられました。